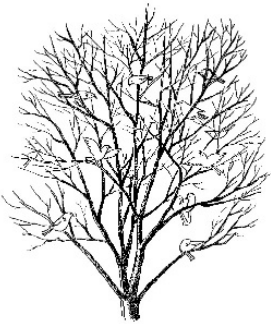


奥沢西保育園の園舎で生活しているぞう組、尾山台保育園の園舎で生活しているきりん・かば組。今まで一緒に生活する中で築いてきていた関係が、離れて過ごす中で変わっていく。それでも、ぞう組さんが尾山台保育園の園舎に戻ってきた時には、これまでと変わらぬ居場所であってほしい。ぞう組さんが尾山台保育園の年長さんとして誇りを持って卒園まで過ごせるように3月に向けて準備を進めていこう。それが11月に職員で話し合っただけの思いでした。

12月の職員会議で、すこし具体的に・・・



10月からずっとですが、最近の職員会議の話し合いの中でもついつい涙がこぼれる回数が多くなってしまいます。先日、いよいよ具体的に3月をどのように迎えるかという話しをしました。工事の工程表の中では3月7日が引き渡しとなっています。3月7日から柵などを並べ、保育の出来る環境を整えなければならないので、ぞう組が戻ってくるのはいつにできるだろうか？という話しをしました。お父さんお母さんに助けてもらい土曜日1日で終わらせるか？どちらにしても、早く戻って来てもらいたいよね、と話していると、幼児クラスの担任から「工事が終わったら、そのままの状態（柵などは無し）でいいから、いち早く戻してあげたい」という意見が出てきました。そんな発想は無かったので驚きましたが、確かに食堂はそのまま使えるし、すぐに卒園を祝う会で柵などは片付けなくてはいけないので、卒園を祝う会が終わってから柵などを設置するという事でもいいのかもしれないと思いました。

でも、何も無い環境で異年齢での生活はできるのか？まだまだ話し合う事は多いと思いますが、だんだんとトンネルの先が見えてくる思いです。（ちなみに、工事は順調に進んでいて、うまくいけば2月いっぱい完成もあるかもしれないとの事です。わからないことを言うと怒られそうですが、工事の進み具合でぞう組の帰ってくる日も変わってくるので、あくまでも可能性の話としてお伝えします。）

新年度移行は3月30日に変更

ぞう組の生活に伴い考えなくてはならないのが、クラス移行です。年間行事予定表では、3月23日になっています。この日から、各クラス進級する部屋に移動して関係のできた大人（現担任）と新しい部屋で過ごすことに慣れる期間としています。



今年は、ぞう組が戻って来て慌ただしく卒園を祝う会（3/14）、そしてすぐに移行（ぞう組はぞう組だけで生活する時間が増えます）となると、これまでのなかよし仲間と過ごす時間もほとんどとれません。3月はじっくりとなかよし仲間と過ごしてほしいという思いから、3月30日を移行日にすることにしました。よろしくお祈りします。